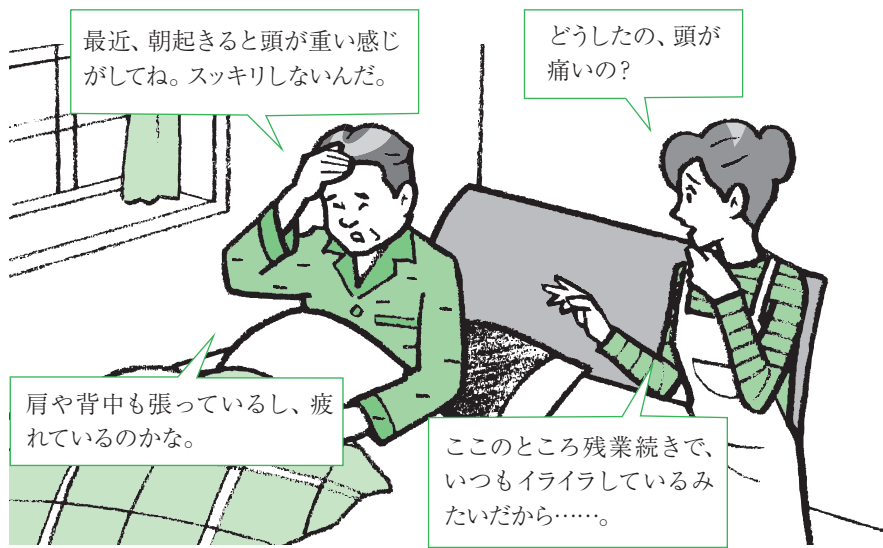


本コーナーでは漢方の専門医が日常診療で会う患者さんを例に、漢方処方を決定する際の留意点と、漢方薬の服用によって症状が改善していく経過を解説します。さて、今回はどのような症状にお困りの方なのでしょうか。



患者プロフィール

Gさん・46歳・男性

- ・Gさんは大手設計事務所の一級建築士。大きなプロジェクトを任されていて日々緊張の糸がほぐれない。
- ・最近、起床時に頭が締め付けられるような痛みを感じる。肩こりもひどく、家で血圧を測ると高いので心配になり、近くのクリニックを受診したところ、血圧は若干高めだが薬をのむほどではないといわれた。頭痛に対しては鎮痛薬を処方されたが、毎朝の頭痛は消失せず、上司の紹介で漢方クリニックを受診した。

漢方よもやま診察室

〔カルテ 7〕 朝起きた時やイライラした時に起きる頭痛

話し手：花輪 壽彦 北里大学東洋医学総合研究所 所長

診断(四診*による診断)から処方決定まで

*問診、望診(見ることによる診断。舌診など)、切診(手で触れる診断。脈診、腹診など)、聞診(聴覚、臭覚による診断)の四つをいう。

花輪：どんな時に頭痛が起きますか。

Gさん：朝の起床時と、あとは設計図に間違いがないか確認する時や大事な会議の時です。

花輪：なるほど、朝や緊張したりする時にも頭痛が起きるわけですね。そのほかにお困りのことはありますか。

Gさん：とにかく肩こりがひどくて、朝測ると血圧も少し高いようで、それで頭が痛いんじゃないかと思うんですが。

花輪：目も充血気味のようですね。

Gさん：同僚によくいわれます。毎日何時間もパソコンを見ているもので、そのせいでしょうか。目が乾いたり、逆に涙目になったりします。

花輪：そうですね……。他にも何かありますか？

Gさん：胃もたれがよくあります。

花輪：Gさんはストレスが影響して頭痛が起こったり、その他の症状も全て関連しているように思います。漢方をのんで様子を見てみましょう。

腹力が少し弱いようだ。胃腸の働きが弱いタイプかな……。



肝の不調による諸症状に釣藤散を処方する

漢方医学には『五臓(肝・心・脾・肺・腎)』という概念があります。誤解されやすいのですが、これらの『肝』や『心』は実際の肝臓や心臓などの臓器のことではありません。生体を構成する機能的要素を5つの概念で示したもので、臓器としての機能だけではなく、その他の働きを含めてより広く心身の働きを捉えたものです。

このなかで、『肝』は主に自律神経系のバランスをとったり筋肉の働きに関係し、『脾』は主に食物の消化・吸収を司っています。

健康な時には『肝』と『脾』は円滑に連携してそれぞれの役割(肝は脾が飲食物から作り出した気(生命エネルギー)を貯蔵し、必要に応じて全身に供給する)を果たしますが、過度なストレスがかかると、肝の機能が亢進し、脾の機能を抑制することで、お腹が痛くなったり、食欲がなくなったりします。

また、この時肝の機能亢進によりあふれ出た気が行き場を失い、頭が上がってしまうことで「気の上衝」が起こり、イライラや頭痛、高血圧、肩こりなどが起こります。

釣藤散は肝の緊張をとり、気の上衝を鎮める漢方で、「六君子湯」という消化器症状によく用いられる漢方処方に基づき、脾の調子を整える効果もあります。

肝の高ぶりによる顔や頭など上部の熱感をとる作用がある生薬(石膏、釣藤鈎、菊花、麦門冬)が首から上にたまった熱をとり、半夏、陳皮、釣藤鈎、菊花が気の流れを調整します。また、気が上衝している時に起こりやすい目の充血には、釣藤鈎と菊花が効果的です。

特に、中高年の起床時の頭痛、朝方に頭痛が強い傾向、高血圧や動脈硬化の傾向がある方には釣藤散が適しています。

釣藤散

六君子湯

人参、茯苓、甘草、
半夏、陳皮、生姜

石膏、釣藤鈎、
菊花、麦門冬、
防風

※本来の六君子湯には上記の6つの生薬のほか蒼朮と白朮が含まれます。

処方して1ヶ月後

Gさん: 起床時の頭痛がほとんどなくなりました。

花輪: 目の充血もよくなったようですね。



3ヶ月後

妻: あら、肩のこり、随分よくなっているじゃない。

Gさん: そうなんだ。頭痛もほとんどないしね。

漢方が効いたみたいだよ。



花輪先生から店頭へのメッセージ

慢性頭痛診療ガイドライン(日本頭痛学会)では、漢方薬は「経験的・伝統的には効果・安全性の両面から有用であると評価されている」と記載され、グレードB(行うよう勧められる)で推奨されています。同時に、漢方薬は科学的なエビデンスが不足しているとも書かれていますが、近年では多くの研究が行われるようになり、当研究所でも漢方的な証を考慮して頭痛に

関する漢方薬の有用性の臨床研究を実施しています。その結果、頭痛発作の回数や鎮痛薬の服用回数の軽減に加え、その他の訴えの改善にも有効なことがわかりました。漢方の魅力は、頭痛だけではなく、心身の両面から全身的なバランスを整えてくれるところにあります。ストレスなどで頭痛以外にもお困りの症状がある方には、漢方薬を是非お勧めください。

処方名	構成生薬	効能
釣藤散	石膏、釣藤鈎、陳皮、麦門冬、半夏、茯苓、菊花、人参、防風、甘草、生姜	体力中等度で、慢性に経過する頭痛、めまい、肩こりなどがあるものの次の諸症: 慢性頭痛、神経症、高血圧の傾向のあるもの